

## 有機食品市場 ②日本の状況

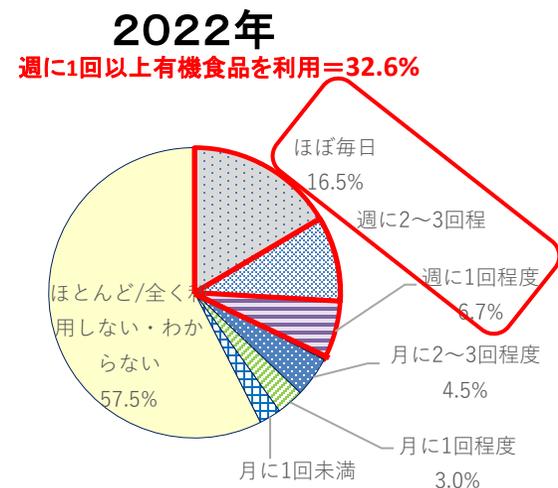
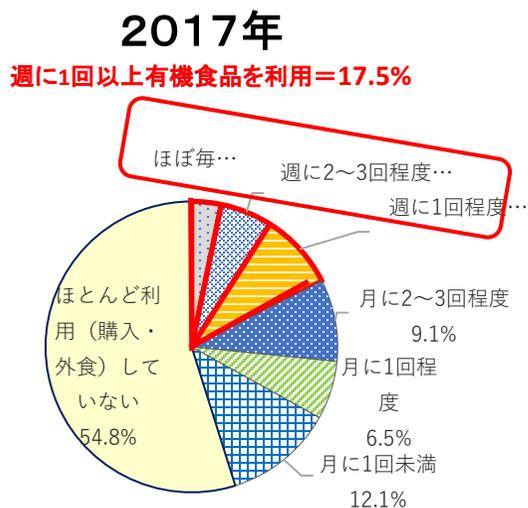
- ▶ 我が国の有機食品の市場規模は、消費者アンケートにより、2009年に1,300億円、2017年に1,850億円、2022年に2,240億円と推計。
- ▶ 2022年の調査では、週に1回以上有機食品を利用する消費者は32.6%。

### 我が国の有機食品市場規模の推計状況 (消費者アンケートに基づく)

推計年度	2009年	2017年	2022年
日本全国の有機食品市場規模の推計値 (円)	1,300億円	1,850億円	2,240億円

※2009年は、IFOAM ジャパン/オーガニックマーケットリサーチプロジェクトによる推計を、2017年は、農林水産省「有機食品マーケットに関する調査」による推計、2022年は、農林水産省「有機食品市場規模及び有機農業取組面積の推計手法検討プロジェクト」による推計を基に、農業環境対策課作成

### 消費者アンケート調査の結果

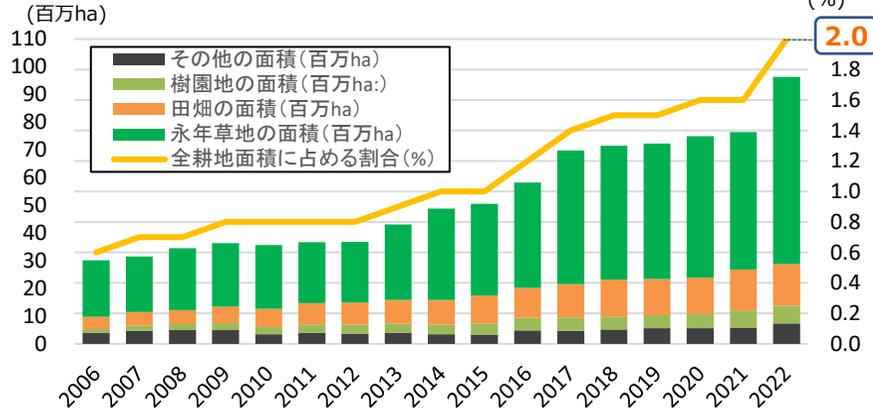


農林水産省「有機食品市場規模及び有機農業取組面積の推計手法検討プロジェクト」から、農業環境対策課作成

# 有機農業の取組面積 ①世界の状況

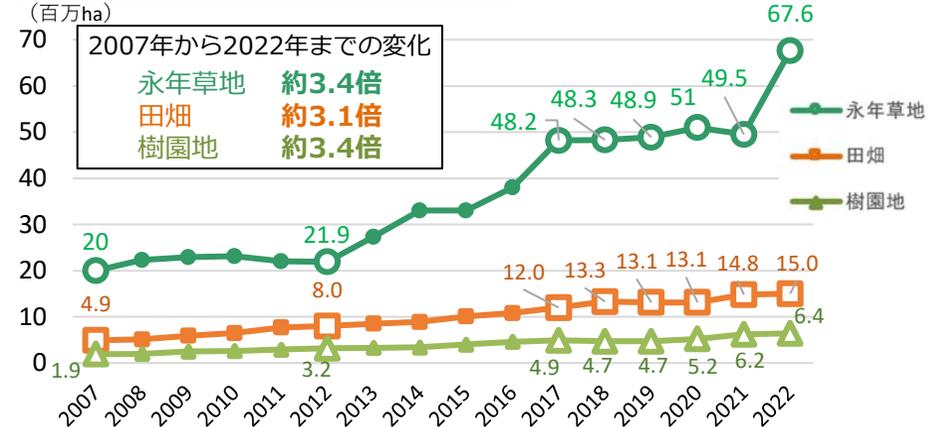
- ▶ 世界の有機農業の取組面積は過去15年間で約3倍に拡大し、2022年では約96.4百万ha、全耕地面積に対する有機農業取組面積割合は約2%。ここ10年程度は永年草地の拡大が顕著。
- ▶ 有機農業の取組面積割合は、欧州諸国では高い一方、アメリカや中国は低く1%に満たない。
- ▶ 有機農業取組面積に対する栽培品目・地目別の割合について、日本は欧米に比べて田畑の割合が高く、草地の割合は同様の傾向。

世界の有機農業取組面積及び全耕地面積に占める割合



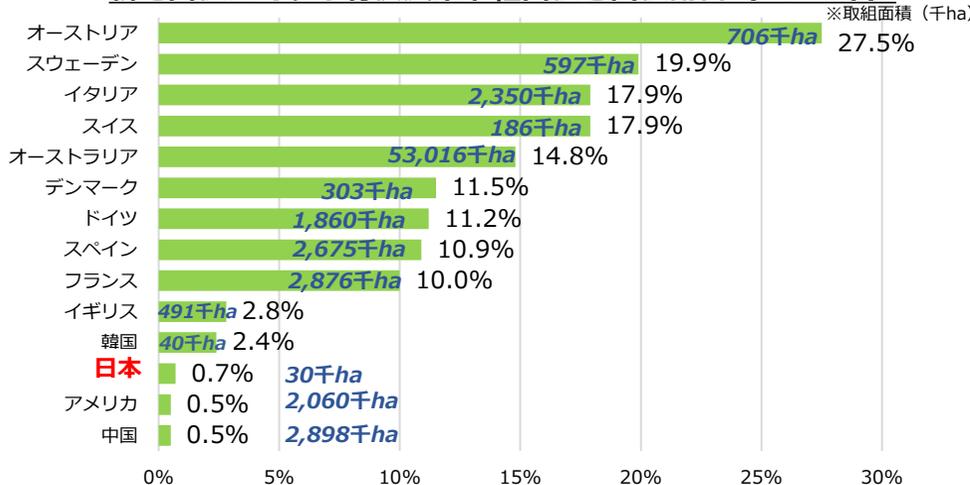
※FiBL&IFOAM The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2024を基に、農業環境対策課作成

世界の地目ごとの有機農地面積の変化



※FiBL&IFOAM The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2024を基に、農業環境対策課作成

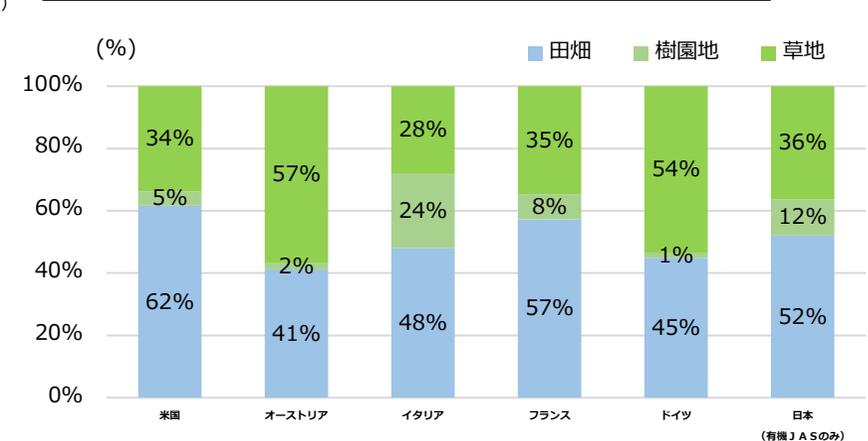
耕地面積に対する有機農業取組面積と面積割合 (2022年)



注1: FiBL&IFOAM The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2024を基に、農業環境対策課作成。

注2: 日本は、有機JAS認証を取得していないが国際水準の有機農業が行なわれている農地面積を含む。

各国の有機農業面積に対する地目別の割合 (2022年)



※FiBL&IFOAM The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2024を基に、農業環境対策課作成